

総務文教常任委員会資料

令和5年5月15日

まちづくり政策部

企画政策課

【目 次】

- 1 JR 社町駅前駐車場精算機導入及び維持管理事業の見直しについて . . . 1 ページ

JR 社町駅前駐車場精算機導入及び維持管理事業の見直しについて

1 普通駐車場のフラップ板整備による収支

	1～5年目	6～10年目	10年間
収入見込(円)	6,205,000	6,205,000	12,410,000
費用見込(円)	21,887,520	12,038,136	33,925,656
収 支(円)	▲ 15,682,520	▲ 5,833,136	▲ 21,515,656

※収入見込は令和4年度駐車実績17台/日を想定して算出(総区画数25区画)。

※市場調査から、6年目以降再契約時の費用は1～5年目の55%を想定。

※機器の稼働見込年数は10年を想定(10年で交換)。

2 結論

令和4年度利用台数を維持した場合、収支を計算すると、▲21,515,656円となる。赤字分を賅うには、1日46.5台の利用台数が必要となる。

以上から、稼働見込年数の10年では、自動精算機及びフラップ板の整備費用を普通駐車場使用料によって精算することができないため、今年度は事業実施を見送りますが、行政サービスの観点や、費用対効果を勘案し、引き続き精算機の導入について検討します。

<参考> JR 社町駅前駐車場利用台数の推移

